

## 「私の体験記」 C.S様 50歳代 女性

### (1) 病気の発症

今から4年前に病気である事がわかり大腸を全摘出しました。オペをする1年位前から今までに感じた事のない体調不良になりました。

ある日突然、両手の指先、特に爪が激痛になりました。爪の裏側と皮膚の間を針で強く刺された感じの痛みです。整形外科を受診したところ、頸椎が悪いという事でしたが、皮膚科も受診する指示があり初めてリリカを処方されました。しかし、全く効果がないのでその病院では最大量まで増量してもらいましたが痛みは治まりませんでした。

大腸のオペを8月に行い術後、秋口に入り寒くなってくると右足の膝と足首が我慢出来ない位の痛みが出始めました。以前、受診した病院には疑問しか残らず、そこで地元で評判がよい整形外科を受診しました。その病院では、腰の軟骨が加齢により減った事で起きている痛みだと言われ、またリハビリも数種類の方がよいとの事でした。半年間ほぼ毎日通いましたが全く痛みは軽減しませんでした。

### (2) 病気の悪化と混迷

オペの翌年からは徐々に右足の痛みも範囲が広がり足の付け根まで痛くなった時は、こんなに寒い時期になると激痛になるならいつそのこともぎ取ってしまいたいと思う様になりました。それからは整形外科のドクターショッピングが始まりました。医師により「右足だけ痛いなんておかしい」と言われたり、「膝の外側が痛いなら理解出来るが内側が痛いのは理解出来ない」と言われたり「足の筋肉を鍛えて下さい」と言われた事もありました。激痛で筋トレどころではありません。薬も効果があると言われていた薬はほぼ服用してみましたが全く効果なしでした。薬は効かないが気休めで飲むという感じになっていました。「大腸のオペの後遺症」と言った医師もいましたが、どの医師にも必ず最後に言われた言葉がありました。「精神科を受診して下さい。それがあなたにとって一番」と言う冷たい言葉でした。

私は元々少し無理な行動をするとその翌日は必ず一日、二日は寝込むのが習慣になっていました。日頃、肩凝りも酷く凝り始めると首や肩甲骨も痛くなりマッサージに週一、二回は必ず通っていました。それでも肩凝りが治まらないと吐き気がしました。指先や爪の激痛はもう治らないと諦め半分と痛みにも慣れっこになっていました。それより足の痛みが全体に広がり、とにかく激痛で歩くのも辛くなり「本当は何が原因なんだろう」と悩みが深くなりました。

### (3) 痛みが極限になって

そんな日々を送っていた1年半前の暮れにベッドから起き上がる事が出来なくなりました。いつもの事で一日、二日寝ていたら起きられると思っていましたが何日たっても起き上がる事が出来ず、年明けに友人に「更年期かも知れないから婦人科を受診したらどう？」と勧められ、婦人科を受診しました。検査をしたところ「更年期障害です」と医師に言われ、そういえば今年の夏に生理がこなくなり「閉経だろう」と思っていましたし、年齢的にも納得しました。更年期障害の治療は「ホルモン注射や錠剤は使いませんが身体に塗るエストロゲンのクリームで治療します。副作用も少なく効果もよいですが一つ条件があります。そのクリームを使うにあたり定期的に生理を誘発させないと癌になるリスクが高くなります」と言われました。生理も重く毎月憂鬱だったので更年期障害の治療の為にまたあの思いを味わうのかと思い2本処方してもらいましたが1本で使うのを止めました。

その後、友人から市販の漢方の錠剤が意外と効果があったと聞き岡先生と出会うまでは気休めで服用していました。昨年になり足の痛みが一番でしたが春になっても痛みは治まらなくなり、身体全体が痛くなり寝て過ごす日々が多くなりました。不安と激痛で気分が安定せずイライラもMAXになりました。最後の時までこの思いで過ごすのかと思うと絶望感の一言でした。

そんな時、先進医療で有名な病院が東京にあるのを知りました。検査結果は「骨は正常で軟骨も減ってはいない、筋肉量も正常で、特殊な血液検査も異常なしで、病名が付きません。ごめんなさい」とその医師は言いました。「後はこの痛みを止めるにはペインクリニックしかないが、実際また整形外科に戻る患者さんも多く、私が老人でないので、まだペインは早いのではないか」とお

っしやりました。私の母方がリウマチ系統なのでリウマチ専門で開業している医師を知らないかをリウマチ科の医師に聞いてくれました。そのクリニックを受診しようと思い予約の電話をした時に思い出した事があります。ドクターショッピングしていた頃にネットで疼痛を知り、線維筋痛症と言う病気があるのを初めて知りました。記事の内容と私の身体の症状があまりにも自分に当てはまっていました。「線維筋痛症の場合、当クリニックも専門の医師を紹介する事になるのでこれからご案内する病院へ受診をされたらどうでしょう」と案内され来院したのが岡先生のクリニックでした。

#### (4) クリニックを受診して

私がネットで読んだ線維筋痛症の記事を書かれていたのが岡先生ご本人で偶然の重なりでした。但し、通院してすぐ痛みが無くなった訳ではなく山梨県からの通院は辛かったです。最初の頃はまだ全身痛く、右足は激痛だったのですごく遠く感じました。正直挫折しそうになった事もありました。その頃岡先生が「あなたの痛みを必ず取ってあげるから心配しないで」と言ってくださりました。更年期障害の話をしたら「プラセンタ注射が効くよ」と勧めてくれました。私は通院が隔週で落ち着いたので、「注射は毎週打たないと無駄になるから、原液のプラセンタがあるから良かったらご主人と相談し服用してみてごらん」とパンフレットをくれました。「更年期障害以外にも痛みにも効果もあるし、幼少期からの冷え性もきっとよくなるし、精神も安定するようになるよ。肌や髪の毛も綺麗になるし、身体によい事がたくさんあるよ」と教えてくれました。自宅に戻り主人に話をしたら「岡先生がよいと言ってくれた物で服用した方がよいに決まっているから購入してごらん」と賛成してくれプラセンタを服用し始めました。

#### (5) プラセンタを始めて

最初は効果がどれだけ出るのか？私には合うのか？効果が出るにはどの位の期間がかかるのか？多少疑心暗鬼になったのも正直な思いです。私の場合は自分の身体にすごく合ったのか？半月服用してまずホットフラッシュが出なくなり、一箱（30個）服用が終わる頃には気がついたら自律神経が安定したの

か？イライラしなくなりました。不安や落ち込む事もなくなり、眠剤を服用しなくても自然に寝つける様になりました。パサパサだった髪もしっとり柔らかくなり肌の艶感が増しました。一番自分で実感したのが梅雨時に、一時期凄く寒い日々があり主人が長袖、長ズボンの寝間着を着用した時に、冷え性の私が半袖、半ズボンの寝間着で過ごしていたら「冷え性なのに寒くないの？大丈夫なの？」と言われて全く寒く感じなかった事に気がつきました。しばらくして身体に合う治療法や薬が見つかり身体の痛みが嘘のようになくなったのも重なったせいでフィットワークがよくなり、多々出掛ける機会が増えましたが翌日寝込む事も全くなくなりました。主人は驚き、それ以上に驚いたのが私自身です。幼少期からの疲れやすい、倦怠感は現在、全くありません。最近、体調がよく痛みもないので薬をよく飲み忘れます。「薬も徐々に減らしていきましょう」と先生に言われます。プラセンタは三箱目になりますが、これからも服用を続けます。岡先生と出会えた事とプラセンタとの出会いは私の人生を変えてもらったと心から感謝しています。